



にしがや 正士 西ケ谷まさし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

一宮川

第2調節池掘削完了

110万立方メートルの貯留可能に

安心・安全なふるさとづくりに力を注いでいる西ケ谷正士県議(茂原市選出、1期)は6月県議会で登壇し、河川整備や値上がり著しい化学肥料対策、外房地域道路ネットワークの核として期待されている長生グリーンラインの工事進捗よく状況などについて県執行部に聞きました。相次いで溢水し、多大な浸水被害をもたらした一宮川の河川整備への質問に対し、県担当者は河道改修を進めることにも、第3貯水池の造成に取り掛かることを明らかにしました。

6月定例県議会一般質問

西ケ谷議員 令和元年10月の豪雨は、茂原市を含む一宮川流域に対して、過去最大の浸水被害をもたらした。国から「河川激甚災害対策特別緊急事業」の指定を受け、一宮川に対して、これまでにないほど、集中的に予算を配分し、事業を進めていたが、昨年9月に台風第13号の接近に伴う大雨により、再び浸水被害が発生してしまったことは本当に残念でならない。仮に、現在の河川整備事業が完了していたとして、果たして昨年の浸水被害を防ぐことができたのか、昨

今の気候変動の影響を踏まえ、今後ますます強い雨が降るのではないかと、そのような心配の声が多く届いている。そこで、一宮川における河川整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 一宮川中流域のうち、瑞沢川合流点から豊田川合流点までの約7.1キロメートルにおいては、洪水を安全に流すため、築堤や護岸工など河道の拡大工事を進めております。更に、一宮川第2調節池

今後の治水対策など 住民に十分な説明を

西ケ谷議員 検証会議の結果も踏まえ、更なる浸水対策が必要と考えるが、どうか。

今後の浸水対策について、流域市町村と協働し検討してまいります。

再質問 西ケ谷議員 茂原市の八千代、大芝地区では、個別に浸水対策を講じていたにも関わらず被災し、地域を離れることを余儀なくされた方もいる。

間もなく公表される検証会議の結果を踏まえ、特定の地域だけではなく、上下流も含めた一宮川流域全体を見渡し、どのエリアで、どのような浸水対策をしていくのかが大変重要と考える。

そこで、一宮川流域の浸水対策について、どのように検討を進めているのか。



県の施策を質問する西ケ谷正士県議

西ケ谷議員 検証会議の結果を踏まえ、更なる浸水対策が必要と考えるが、どうか。

間もなく公表される検証会議の結果を踏まえ、特定の地域だけではなく、上下流も含めた一宮川流域全体を見渡し、どのエリアで、どのような浸水対策をしていくのかが大変重要と考える。

西ケ谷まさしプロフィール

経歴	
1956年	茂原市山崎に生まれる
1968年	茂原市立二宮小卒
1971年	茂原市立富士見中卒
1974年	県立一宮商業高校卒
1978年	駒沢大学卒
	茂原市役所に奉職し、経済環境部長などを歴任
2020年	茂原市議会議員選挙当選(2期)
2023年	県議会議員選挙当選
現職	
	・商工労働常任委員会委員
	・茂原市ソフトテニス連盟会長
	・茂原市体育協会副会長

●県政や茂原市の街づくりに関する相談をお気軽にどうぞ

県土整備部長 今後の検証会議で、一宮川の流域特性に適した浸水対策について、流域治水の視点も踏まえた技術的な見解をいただいた上で、具体的な対策について、関係市町村からなる一宮川流域治水協議会で検討してまいります。

要望 西ケ谷議員 一宮川の検証会議の結果や今後の浸水対策について、県はしっかりと根拠を背景に、流域市町村の住民にわかりやすい説明を尽くすよう要望する。

西ケ谷まさし 県議事務所

〒297-0061 茂原市山崎838-1
TEL・FAX 0475-24-8881

農村を支える小規模農家

宮農継続へ一層支援を

西ヶ谷議員 地域農業が将来にわたり存続していくためには、地域を支えている小規模農家が継続的な活動を行っていきけるよう、農村集落を支援することが重要と考える。

で、小規模農家や兼業農家の方々の力により支えられている地域が数多くあると認識しています。

そこであらうかがうが、県は、小規模農家や兼業農家が支えている農村集落の支援にどのように取り組んでいるのか。

県では、農村集落の農業者等で構成する保全会などの活動組織が共同で実施する農道や水路等の保全活動を、国の多面的機能支払交付金を活用して支援してきています。

農林水産部長 本県の農村集落の状況は、農地集積が進んで大規模農家を中心となっている地域がある一方

なお、活動組織にとつて交付金事務が負担となっていることから、小規模な活動組織の統合による広域化を進め

るとともに、土地改良区へ事務委託を推進するなどにより、活動組織の事務負担の軽減に取り組んでおります。

り、活動組織の事務負担の軽減に取り組んでおります。

引き続き、多面的機能が適切に維持・発揮されるよう、農村集落の支援に取り組んでまいります。

西ヶ谷議員 「千葉県農林水産業振興計画」においても、小規模農家の取組を支援していくと記載されていることから、来年度当初予算に向け、小規模農家の宮農継続のための更なる支援策を検討するよう、強く要望する。



議場の自席で再質問する西ヶ谷県議

長生グリーンライン 県道茂原大多喜線一広域農道間 用地取得、工事準備進む

西ヶ谷議員 長生グリーンラインは外房地域の道路ネットワークの骨格となり、圏央道等の国規格道路と一体となつて機能し、物流の効率化、観光振興、防災力の強化をはじめ、交通の転換による渋滞の緩和や安

全性の向上に寄与するとともに、長生地域における救急搬送時間の短縮等による救急活動の支援などにもつなげる。

本年3月には、長南町道から県道茂原大多喜線までの2.5キロメートルが開通し、地元

の期待は高まっている。

そこであつたが、長生グリーンラインの県道茂原大多喜線から広域農道までの区間の進捗状況はどうか。

県土整備部長 長生グリーンラインは、圏央道の整備効果を外房地域に広く波及

させるうえで、大変重要な道路です。

県道茂原大多喜線から広域農道までの2.5キロメートルについては、用地取得を進めており、その取得率は約6割となっています。今年度は交差道路に設置する函渠

などの構造物の設計を実施するとともに、工事に必要な進入路の整備を進める予定

です。

引き続き、地元の皆様の御理解と御協力をいただきながら、事業を推進してまいります。

西ヶ谷議員 長生グリーンラインの広域農道から一宮町までの区間は、どのように取り

広域農道一宮町間 道路設計に着手

西ヶ谷議員 長生グリーンラインの広域農道から一宮町までの5.5キロメートルについては、今年度から

組んでいくのか。

県土整備部長 広域農道から一宮町までの5.5キロメートルについては、今年度から

化学肥料、価格高止まり

家畜ふん堆肥 千産千消推進

西ヶ谷議員 肥料などの生産資材価格が高止まりしている中、農業経営を安定させるためには、肥料の代替として、県内で生産されている家畜ふん堆肥を有効に利用すること、すなわち、堆肥の「千産千消」を推進していくことが重要と考える。

西ヶ谷議員 産業用地の確保に向けて、市町村に対して、実務面においてもしっかりと支援すべきと考えるが、県としてどのように取り組んでいるのか。

市町村の産業用地確保 積極的な支援要望

西ヶ谷議員 産業用地の確保に向けて、市町村に対して、実務面においてもしっかりと支援すべきと考えるが、県としてどのように取り組んでいるのか。

西ヶ谷議員 県内の産業用地が不足する中、県では市町村と連携しながら産業用地を確保していくこととあり、財政と実務の両面から市町村をしっかりと支援していくことが重要だと思つた。

知事 県では、市町村が産業用地整備の検討を開始する段階から、開発に向けた課題等について意見交換の場を設け、県が有する企業ニーズや他自治体の開発事例に関する情報提供を行うほか、ノウハウに長けた民間事業者の紹介などの支援を行っています。

また、農地転用等の土地利用調整など、産業用地整備における大きな課題については、関係部局と連携して二元的に相談に応じるなど、実務経験が十分でない市町村でも検討を進めることが

西ヶ谷議員 長生グリーンラインに続く一宮町から鴨川市間の道路計画の早期具休化を要望する。

西ヶ谷議員 長生グリーンラインに続く一宮町から鴨川市間の道路計画の早期具休化を要望する。

西ヶ谷議員 県内の産業用地が不足する中、県では市町村と連携しながら産業用地を確保していくこととあり、財政と実務の両面から市町村をしっかりと支援していくことが重要だと思つた。